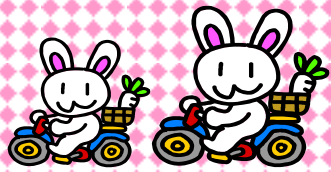


平成26年8月実施

講座レポート



手作りおもちゃを作ろう!

あなたの活動を応援します



若林区中央市民センター

●講座のお問い合わせ (9:00~17:00)

TEL **022-282-1173**

●施設利用のお問い合わせ (9:00~21:00)

TEL **022-282-1171**

指定管理者 (仙台市教育委員会指定)
公益財団法人仙台ひと・まち交流財団

木もくウツティな動くステキ☆な車



若林区中央市民センターでは、夏休みの工作にぴったりの講座、「手作りおもちゃを作ろう!」を開催しました。

小学1年生から6年生までの24人が、6つのグループに分かれて、身近な自然素材を工夫して楽しい木のクルマを作りました。art field khaya くうかの齋藤尚美先生、おもちゃ病院ころころのドクターの皆さんの指導を受け、世界に一つだけのオリジナルの車が完成しました。

完成後には、班ごとに自分の自慢の作品を見せ合う“鑑賞タイム”!「他のお友達はどうな車をつかったのかな?」「私の車はココが自慢なんだよ!」……あっという間の楽しい時間でした。

8月2日 (土) 10:00~11:30



はじめに、先生から作り方の手順と注意事項のお話がありました。

車の台座にゴムの動力を付けるところから始めます。

台座にヒートンを付けたり、糸をゴムに通して結んだり…と一年生にはちょっと難しい場面も。そんな時はおもちゃ病院ころころさんが助けてくれます!



積み木のように木片を組み合わせて、本体を作ります。

どんな車にしようかな? 動物型の車、お店屋さんの車、恐竜のような車、タワー型の車…。形を決めたら木工用ボンドで自由に接着します。みんなの夢の車が形になってきました。



仕上げに、細かい木片、木っ端、木の实などで飾り付けをします。

大豆、向日葵の種、クルミの殻、



ウッドチップ等ぬくもりのある自然の素材がいっぱいです。

完成!

思い思いの個性溢れる木の車の出来上がりです。鑑賞タイムでは、班ごとに自慢の車を見せ合いました。一人ひとりが、それぞれ好きな材料を選び、形を考えて完成した車です。

世界に一つだけのオリジナルカーにみんな笑顔! 夏休みの楽しいひと時となりました。



♪アンケートより♪

- ・ じょうずに作れてうれしい。
- ・ むずかしいところもあったけれど、たのしかった。バイクのおもちゃも作ってみたい。
- ・ 工作はとてもおもしろかった。また工作がしたいです。
- ・ ぜんぶ木でつくれて、うれしかったです。
- ・ 組み合わせたり、つけたりして楽しかったです。こんどはクギうちをやってみたいです。